

## 謹賀新年

### 2017

あけましておめでとうございます。  
旧年中は、せとうちDMOの活動へのご支援・ご協力をいただき、ありがとうございます。  
本年もどうぞよろしくお願いいたします。



平成29年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。  
昨年は、せとうちDMOの設立、そして始動の年であり、各般の事業について試行錯誤を重ねながら推進してまいりましたが、関係の皆さま方の御理解と御支援に支えられ、せとうちの認知度は着実に高まってまいりました。心より感謝申し上げます。  
昨年、訪日外国人旅行者数は2千万人を突破する一方で、流行語大賞となった“爆買い”から、日本の生活や文化を体験する“コト消費”へと、外国人旅行者の主要な訪日目的も変化しつつあります。  
せとうちDMOはこうした変化に適切に対応し、瀬戸内が幾度も訪れたいくなる魅力ある地域となり、2020年の外国人延宿泊者数600万人泊の目標を達成できるよう一丸となって取り組んで参りますので、今年もどうぞよろしくお願いいたします。  
一般社団法人 せとうち観光推進機構 会長 佐々木 隆之

### 新年の一言 「翔」

せとうちDMOの新たな目標、「2020年の外国人延宿泊者数600万人泊」の達成に向けて、酉年の今年、大きく飛翔する1年にしていきたいと思っております。  
取り組みにあたっては、現在の機構における業務の進め方をゼロから見直し、「ベストプラクティスを確立する」「県の推進する事業との重なり部分を解消する」などにより、限りある予算とマンパワーを有効に活用することが肝要です。(佐々木)



あけましておめでとうございます。

日頃よりせとうちDMOの事業にご理解・ご協力賜りまして誠にありがとうございます。  
私は25年ほど観光領域で仕事をしており、今ほど観光に光が当たっている時代を経験したことがありません。瀬戸内ブランドを確立し、地域が潤い、皆さまが元気になる仕組みを創り上げる絶好の機会と捉えています。その実現に最も重要なことは、住民の皆さまや域内の事業者の皆さまの「本気」を引き出すことだと考えております。  
昨年末に「せとうちDMOメンバーズ」という会員制度をリリースさせていただきました。業種を超えてできるだけ多くの方々にご参加いただき、主体的・積極的にDMOの事業に関わっていただければと思います。地域の皆さまのお力を結集して、実り多い1年となるよう組織一丸となって進んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。  
一般社団法人 せとうち観光推進機構 事業本部長 村橋 克則



### 新年の一言 「青」

瀬戸内海の深い青を眺めながら思いました。日々の忙しさにかまけることなく、現実の厳しさに怯むことなく、夢や理想を追い求める「青」くささを持ち続けたい。瀬戸内をどうしたいのか、どうあるべきなのか。DMOのメンバーはじめ多くの方々と地域の未来を語り合い、地域の希望を紡ぐ1年にしたいと思っております。(村橋)



新年おめでとうございます。  
せとうちDMOは昨年4月にスタートしたばかりですが、政府機関や経団連など様々なところで講演を行ったり、複数のメディアの取材を受けたり、またクルーズ事業、古民家宿泊事業等の投資を行うなど、国内のDMOの中で特に注目を集める存在になりました。  
今年は注目度だけでなく、実績面でも他のDMOをリードする存在になりたいと思っております。まずは、他の地域では例のない会員制度を立ち上げます。それから、他のDMOでは出来ないような事業開発・商品開発を幾つも手掛ける予定です。その結果、沢山の国内外の観光客が瀬戸内を訪れることを目指します。昨年同様、本年も皆さまご支援のほど、どうぞ宜しくお願いいたします。  
株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション 代表取締役社長 水上 圭

### 新年の一言 「海」

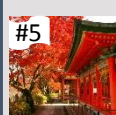
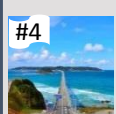
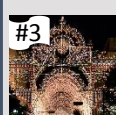
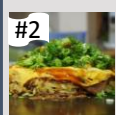
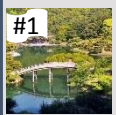
昨年私は、島々や夕日によって、様々な表情を見せてくれる瀬戸内海にすっかり魅了されました。今年は、その海の魅力を活かしたプロジェクトをいくつか手掛ける予定です。そして、国内外の観光客が瀬戸内の「海」を目指して訪れる。そんな一年にしたいと思います。(水上)



### 瀬戸内Finder 人気記事TOP5



地元ライターによる  
瀬戸内情報発信中！  
<http://setouchifinder.com>



#1 栗林公園を早朝に訪れるべき5つの理由

香川県

#2 広島県には5種類のお好み焼きがある！

広島県

#3 夜の瀬戸内 デートスポット9選

瀬戸内各地

#4 山口県の超絶景 マトメ8選！

山口県

#5 備後エリア秋の紅葉スポット6選

広島県&岡山県

### メディア掲載実績

- せとうちDMO関連
  - 2016年11月19日 中国新聞
  - 2016年11月28日 広島ホームテレビ
  - 2016年12月01日 中国新聞
  - 2016年12月02日 NHK総合
- フェイス「稼げる観光は何をもたらすか」
  - 2016年12月05日 日本経済新聞
- メンバーシップ制度関連
  - 2016年11月14日 テレビせとうち
  - 山陽放送、岡山放送
  - 2016年12月02日 山陽新聞
- せとうちHolics関連
  - 2016年12月01日 日本経済新聞
  - 2016年12月01日 四国新聞
  - 2016年12月08日号 広島経済レポート
- 瀬戸内ブランド登録商品関連
  - 2016年11月19日 広島ホームテレビ「ぼるフェス」
- 瀬戸内Finder関連(広島ホームテレビ食通厳選 オシ！めし)
  - 2016年11月07日放送分
  - 2016年11月14日放送分
  - 2016年12月02日放送分
  - 2016年12月09日放送分
  - 2016年12月16日放送分

## 「Taiwan Cycling Festival 2016」へ出展！！

せとうちDMOは、11月13日(日)に日月潭(台湾)で開催された「Taiwan Cycling Festival 2016」のイベントに出展し、瀬戸内エリアのサイクリングをPRして参りました！

当イベントには、台湾国内外のサイクリストやファミリー約2,600名が参加。日月潭は台湾の一大観光地でもあり、イベント参加者だけでなく、台湾各地からの観光客もブースを訪れました。

また、今回の出展では「瀬戸内しまなみ海道振興協議会」にブースの一部をご提供いただけたこともあり、多くの方々に瀬戸内エリアのサイクリングの魅力強くPRできました。



ブースの賑わい

さらに、当イベントの出展に合わせて台湾の台中市および台北市の旅行会社等に対してセールスコールを行いました。商品作成にあたっての課題やせとうちDMOへの期待などをヒアリングするとともに、瀬戸内エリアで開催されるサイクリングイベント等の情報も提供し、今後に繋がる貴重な機会となりました。

(サイクリング担当 北川、村岡)

2016年11月13日



ジャイアント旅行社へのセールスコール

## 「せとうちHolics」活動開始！ ～第1回 Holics Talk in 西条「食でつながる瀬戸内」～

「瀬戸内をもっと面白くしたい！」と活動する瀬戸内住民のためのネットワーク組織「せとうちHolics(ホリックス)」が結成され最初の活動として広島県東広島市西条においてHolics Talkを開催しました。

Holics Talk は瀬戸内エリアの各地域で活躍する様々なジャンルのプレイヤーを招いたトークイベントです。記念すべき1回目は、島の個性を珈琲で表現する「島ブレンド」を島ごとに作りながら瀬戸内をつなぐ「瀬戸内焙煎珈琲倶楽部」の上田健一郎さんと、未利用魚の活用で漁業の可能性を拓く「小田水産」の小田佳希さんをゲストにお招きし、目からウロコなアイデアや瀬戸内に対する想いなどを語っていただきました。

当日は約20名の方にご参加いただき、瀬戸内愛を語り合う交流の場として素晴らしい船出となりました。

Holics Talkでは今後も瀬戸内エリアで活躍されている方々をゲストにお招きし、持続可能な瀬戸内の在り方について話合っていきます。

せとうちHolicsの活動は当面Facebookで告知していきますので、皆さまも「いいね！」よろしくお願いします！

<https://www.facebook.com/SetouchiHolics2016/>

(せとうちHolics事務局 河井、泉、石原)

2016年12月17日



◀ Holics Talkの様子。  
会場は瀬戸内を愛する方たちでいっぱいでした。



## 「HOMEぽるフェス」の番組イベントで瀬戸内ブランドグルメフェア開催



広島ホームテレビの番組イベント「HOMEぽるフェス」(11月26日(土)～11月27日(日))の紙屋町シャレオ会場で、「瀬戸内ブランドグルメフェア」が開催されました。瀬戸内ブランド商品を扱う9社の商品展示のほか販売も行い、まるか食品のイカ天レモン味や巴屋清信の江波せんべいなどが大変好評でした。

当日は広島ホームテレビの生放送番組でもブースの様子が取り上げられ、各出展企業からは「販売だけでなく、テレビの生放送でも紹介していただき大きなPRにもつながった」との声があり、多くの往来者やテレビ視聴者のブランド認知の向上に繋がりました。(地域産品担当 田中、増地)



2016年11月26日～11月27日

## 「尾道グルメクルーズ」 運航開始しました

JR西日本の企画により、地元飲食店が提供する食事とクルージングをセットにした「グルメクルーズ」の運航が、広島・尾道水道において平成28年12月23日から期間限定で始まりました(平成29年1月16日まで)。初日の23日には出発式が行われ、せとうちDMOから佐々木会長と村橋本部長が出席し、初便のランチクルーズを乗船体験してきました。

今回のグルメクルーズは、波が穏やかな尾道水道を大阪のクルーズ船「ひまわり」が運航するもので、尾道港近くのレストラン「尾道レスポワール・ドゥ・カフェ」のランチ、カフェ、ディナーが提供され、尾道の魅力を海からの景色と食事で楽しめるクルーズです。首都圏・京阪神からの旅行商品とのセットプランが基本ですが、せとうちエリアの皆さまはクルーズのみでもご利用いただけます。

出発式にご出席の来賓の皆さまからは、せとうちの持つ「海の魅力」の発信について語られ、佐々木会長からもせとうちエリアのクルーズ振興策として今後の事業化に向けた期待が語られました。せとうちDMOではプロダクト開発の「クルーズ」テーマの取組みのひとつとして、今回の企画で得られた情報を分析し、観光クルーズ事業者の皆さまの新規サービスへの参入や商品開発を促進・支援していきます。(クルーズ担当 岡野、空山)



2016年12月23日

## 岡山放送 「OH! マイ瀬戸内」 公式WEBサイトを立ち上げ

「あれ、瀬戸内って結構おもしろじゃん」

そう感じてくれる人を一人でも増やし、瀬戸内を旅してほしいという思いをカタチにする、「OH! マイ瀬戸内」公式WEBサイトを、OHK岡山放送が立ち上げました。

これは、瀬戸内の魅力を再発見し、世界に発信していくことを目的に岡山放送が取り組んでいる「OH! マイ瀬戸内」プロジェクトの一環で、この他2016年春から番組やCM映像でのキャンペーン展開やシンポジウムを開催しています。

せとうちDMOも数回にわたり、瀬戸内の魅力についての意見交換会を実施してきました。12月9日には、せとうちDMOオフィスに訪れ、プロジェクトの進捗を報告いただきました。

12月1日からは、Instagramを使ってテーマに沿った写真や動画を投稿してもらい「好きになっちゃう瀬戸内 みんなの投稿キャンペーン」も展開中。今後の「OH! マイ瀬戸内」の展開が楽しみです。

(せとうちDMO 村木、村岡、森原、石原、秋山、竹内)

2016年12月9日

OH!  
マイ瀬戸内

「OH! マイ瀬戸内」  
公式WEBサイト▶



▲12月9日の  
せとうちDMO来訪時の様子

## 第12回日中韓文化交流フォーラムで瀬戸内ブランド商品を展開

広島県国際課より「第12回日中韓文化交流フォーラム」において、「瀬戸内ブランド商品」を展示することの提案を受け、ブランド商品の認知拡大に向け、会場の入口側面にて瀬戸内ブランド登録商品を展示しました。

このフォーラムは、北東アジア地域における民間主導の文化交流を積極的に支援・展開し、同地区の友好と文化交流に寄与することが目的の有識者(今回は約50名が参加)会議を中心に、平成17年より、韓国、中国、日本の順で毎年開催されているものであり、今年は広島市内で11月16日(水)～11月19日(土)に開催されました。

瀬戸内ブランド商品の展示については、展示を希望する事業者の約30アイテムを、ポスター・のぼり・広報用DVDなどと併せて、フォーラム期間中の4日間展示し、参加者に瀬戸内ブランドを知って頂くきっかけとなりました。

(地域産品担当 田中、増地)

2016年11月16日～11月19日



## せとうちDMOメンバーズ 会員募集を開始しました

先月号で告知した「せとうちDMOメンバーズ」のお申し込み受付を平成28年12月15日(木)よりスタートしました。

「せとうちDMOメンバーズ」とは、瀬戸内7県(兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県)に事業基盤を有する企業等に対し、観光関連ノウハウの提供や様々な企業同士が交流・連携を行うためのマッチングの場を設けるとともに、訪日外国人観光客の取り込みを狙い新商品・サービスの開発、販路拡大に意欲的に取り組む際に、個々では備えが難しい様々な機能を定額制にて提供し、事業者の支援を行う会員制サービスです。平成29年2月より順次サービスを提供して参ります。

情報・ビジネス人脈

### 瀬戸内サロン

各種情報・勉強/交流の場を提供

業務支援

### 瀬戸内コンシェルジュ

事業に必要な業務支援機能を提供

情報発信力  
(プロモーション)

### メディアサービス

効果的に国内外へ情報を発信



メンバー事業者様は合同会議にご参加いただけます。せとうちDMOの報告会や著名人による講演会・シンポジウムを開催します。また、新たな事業連携や取引をお探しの事業者様に、ビジネスマッチング機会として瀬戸内7県や多業種に跨るビジネス交流会にご参加いただけます。年2回の開催(5月・11月)を予定しています。

### 外国語電話通訳サービス



24時間365日対応!!

英語・中国語・韓国語・タイ語・ポルトガル語・スペイン語・フランス語・イタリア語・ドイツ語・インドネシア語・ベトナム語・ロシア語  
訪日外国人のお客様とのトラブル時に利用できる通訳専用コールセンターをご提供します。

▲上記のサービスは一例です。  
ご興味のある方は  
お問い合わせ窓口まで

早期に会員登録のお申し込みを頂いたお客様には、「早期割引特典」を実施しております。ご興味のある方は、是非、一度せとうちDMOまでご相談ください!

### ＜お問い合わせ先＞

資料のダウンロードやインターネットからのお問い合わせはこちら→<http://www.setouchi-bc.co.jp/members>

お電話でのお問い合わせは TEL:082-836-3205(佐々本、幸田、竹内) まで

2016年12月15日

## せとうちDMO 瀬戸内7県でセミナーを順次開催決定!

せとうちDMOは観光ビジネス等に携わる事業者や自治体関係者等を対象に、瀬戸内7県でセミナーを順次開催いたします。平成28年3月に設立した「せとうちDMO」の活動状況報告やインバウンド誘客ノウハウ等の講演、参加者同士の交流の場を提供させていただき、「せとうちDMO」や参加者の皆さまとの連携を深めるきっかけをつくり、「瀬戸内」ブランド確立と新たな観光ビジネス創出に繋がりたいと思います。

今月は愛媛県と徳島県で以下のとおり開催予定です。皆さまのご参加を心よりお待ち申し上げます。

### 愛媛会場

**とき** 平成29年1月23日(月)  
14:00~18:15

**ところ** 子規記念博物館(4階講堂)  
松山市道後公園1-30

**参加費** 無料(交流会は有料)

### 徳島会場

**とき** 平成29年1月27日(金)  
14:00~16:00

**ところ** あわぎんホール(4階大会議室)  
徳島市藍場町2丁目14番地

**参加費** 無料  
(徳島会場では交流会は開催しません)

### 申し込み方法

各所で配布しているチラシ裏面に必要事項を御記入のうえ、右記事務局まで **FAX**でお申し込みください。チラシは[せとうち観光推進機構HP](http://www.setouchi-bc.co.jp)からもダウンロードできます。(愛媛会場のチラシは平成29年1月6日以降掲載予定です)

チラシがお手元に無い方は任意の用紙に①参加希望会場(松山or徳島)、②会社・組織名、③参加人数、④会社所在地、⑤会社電話・FAX番号、⑥参加者全員のお名前・お役職・Eメールアドレスを御記入のうえ、**FAX**でお申し込みください。

※当日受付にてお名刺を頂戴しますので、ご用意ください。

＜せとうちDMO事務局＞

・申し込み先  
FAX: **082-836-3206**

・お問い合わせ先  
TEL:082-836-3205(愛媛会場)  
TEL:082-836-3217(徳島会場)

## えひめいやしの南予博2016クロージング シンポジウムに出席

11月20日(日)に、宇和島市で開催された「えひめいやしの南予博2016」のエンディングとなる南予観光まちづくりシンポジウムに、広島県や大分県の皆さまとともに出席しました。

「えひめいやしの南予博2016」は、平成28年3月から11月まで、愛媛県の南予9市町を中心に、住民主体の観光まちづくりの継続と定着や、「南予のブランド化」による交流人口と実需の拡大等を目的に、多様な

「食・食文化」、「サイクリング」など、南予地域の魅力の発信を通した南予ファンの形成や移住・定住促進をテーマに取り組みられました。

コアイベントのほかにも、様々な地域企画イベントや自主企画イベントが展開され、住民グループの皆様が実施する、地域資源を活かした観光まちづくりや移住・定住促進に資するプログラムは、南予博終了後も継続的に活動されるとのことです。シンポジウムでは、南予博で成果を上げた住民グループの皆さまの事例発表とともに、継続的な「いやしの南予」ブランドの確立を目指したディスカッションなどが、大勢の参加者を得て、盛況に行われました。中村知事ご自身も登壇され南予の魅力をわかりやすく発信され会場は和やかな一体感に包まれていました。

観光地づくりの一翼を担う住民の皆さまが主体となって観光まちづくりを推進する南予博の取組は、せとうちの取組のお手本になるものと感じました。

(せとうち観光推進機構 事業副本部長 岩瀬)



## えひめいやしの南予博 2016

2016年11月20日

## エリアトピックス 広域観光周遊ルート拠点地区事業～小豆島～

香川県小豆島町では、広域観光周遊ルート「せとうち・海の道」の拠点地区事業として、留学生モニターツアーを9月と11月に実施しました。コースは小豆島町観光協議会が実施した「小豆島の宝 魅力の景観24選」で選定された景観を中心に造成しました。中国や台湾など18カ国・地域の約40名の留学生が参加し、留学生の目線からの評価や問題点等の意見を挙げるほか、SNS等を用いて海外への情報発信を行いました。

せとうち観光推進機構も後援をしているInstagramを活用したサイト「[小豆島の宝 魅力の景観24選](#)」には、小豆島の美しい景観を切り取った写真が多数掲載されていますので、是非ご覧ください。

(エリアマネジメント 竹本)

2016年9月12日、11月20日



## せとうちDMO講演実績

### ◆講演登壇 実績(村橋)◆

- 11月16日 日本都市計画学会 中国四国支部様
- 11月17日 広島経済同友会様 「備後都市懇話会」
- 11月18日 福山市様 「せとうち・福山観光促進セミナー」
- 11月22日 「中四国・瀬戸内クルージングサミットin福山」 コーディネーターとして登壇
- 12月1日 安田女子大学様
- 12月6日 比治山大学様

☆機構への講演のご依頼は編集部: 矢野まで  
Tel:082-836-3217  
Mail:y-yano@setouchitourism.or.jp



## 今月のリッチなひとこと ~これを読めばあなたもリッチになれる~

私、リチャードは先月、話題のアニメ映画「この世界の片隅に」の舞台となった「呉」を、呉の地域振興に携わっているご担当者様にご案内いただきました！御手洗に着いた時に、黄色の背景に小学生のシルエットが入ったグッズがいっぱい置いてあるのが目につきました。「これは何ですか？」と質問すると皆さま「後でわかります」と言われました。そして、本物とご対面！右の写真にある「足長小学生」と呼ばれる看板がグッズのモチーフでした。この看板、SNSへ投稿してもらえよう、町ぐるみで促進しているとのこと、関心を覚えました。「これかー！」とSNSに消極的な人でも、アップせずにはいられないと思います。旅行者が思わずSNSで発信をしたくなる仕組みづくりがこれからの魅力発信に大きくつながるのでは、と実感しました。

